

音楽とは 横への感性なり!

合唱団ホームページアドレス
<https://www.wiengifu.org>

6月号

2023年6月01日

編集・発行
 ウィーン岐阜合唱団

岐阜の街 ^{まち} ウィーン ^{ごと} の如く ^{おとたの} 音楽し 作：音楽総監督 平光 保

「25年を」振り返ってみると

岐阜本部 ソプラノ
 高橋 加奈子

私と平光先生との出会いは、今から三十年ほど前に新設されたばかりの長森コミュニティセンターで女性コーラスの練習で歌っている時です。仲間の一人が、オーケストラをバックに「美しき青きドナウ」を歌う人を募集していることを知り、そこで話が盛り上がり、一緒に歌いたい5人程で入団することになりました。季節合唱団で、平光先生との出会いはここから始まりました。演奏会の場所は、国際会議場でした。

初めて聴くオーケストラの音色に、胸が高鳴り、興奮している自分がいました。平光先生の指揮もオーケストラの演奏も初めてで、ただただ感動して終わってしまいました。暫く余韻に浸っていたことが、鮮明に記憶に残っています。

その後、平光先生は、“岐阜の街をウィーン ^{ごと} の如く” 岐阜の街を音楽に溢れた街にしたいと

「ウィーン岐阜合唱団」と命名され、創設されました。

その後、毎年暮れの12月に“第九演奏会”が定例になりました。その躍進は目覚ましいかぎりです。



ウィーン岐阜合唱団と言えば、“第九演奏会”と高評を得て、定着しました。

一番の魅力は、日本指揮者協会の会員100名ほどの中の一人であられる平光先生から、練習から本番まで、毎週ご指導を受けられることです。このような合唱団は全国捜しても、他にないのではないのでしょうか。これが、私には一番の喜びであり、自慢でもあります。

音楽は、私の心に優しさや、身体に喜びを与えてくれるものなので、今までの長きにわたって、歌い続けてこれたのではないかと考えています。

私は、80歳を過ぎましたが、愛着ある合唱団、平光先生と仲間との出会いを大切に、無理の無い様に続けられたらと思っています。

今年の年末は、4年ぶりの“第九演奏会”と5年ぶりの“ぞうれっしゃがやってくる”を歌います。

“ぞうれっしゃがやってくる”は実話の物語です。

今年も本番の舞台で溢れ出る涙を…ご一緒にいかがでしょう



音楽はを離さない

大垣支部 ソプラノ 大澤 悦子

野球の大谷選手は、二刀流で大活躍し世界の人達を虜にしている。

邦楽と洋楽、二刀流の人生を送っている私は、回りの方々に支えられ感謝の気持ちで一杯でございます。

戦後まもなく昭和22年、姉6歳、私5歳の時、西川甲鯉三郎さんの「鯉」をいただき大垣の「西川流鯉栄会」で日本舞踊を習い姉妹で大垣祭「玉の井」で踊り、大垣市芸術祭に出させていただいて、文化が続くことを願います。

十代の時、書で市展・県展に入選し、書道は独学で雅号【^{せんけい}嬋恵】を授かりました。

17歳の時、名古屋聖霊高校で聖歌隊セシリアコーを受験し宗教曲のおごそかな響きに感動を覚えました。

19歳の時、東京の山脇美術学院でファッションを学んだ後、1963年（昭和38年）混声合唱の大垣合唱団に入り、解散後、オーケストラと共に歌うことに熱が入り、フロイデンコールに入団しました。又、友人に誘われ、至心流で書道吟を書き「悦風」の名をいただきました。挑戦する気持ちが私を元気にしています。

1992年、大阪シンフォニーホールで「メサイア」全曲を歌い終えた時の満足感はずれません。

1995年、オーストラリアに大垣市海外女性派遣団でホームステイし、夕食会にトリオの楽団が入り、外国の方に巻き寿司を手作りし、食事と音楽の楽しさは良い思い出と

なっています。1992年2月「大阪第九」で感動し月1回、彦根へ「第九」の練習に通いドイツに行くことになり、1999年12月「彦根第九ドイツベルリン公演」（オケ80名、合唱120名）に参加し、ドイツSFB放送コンサートホールで、19時からの演奏会に、その後23時からの打ち上げで2000年を迎えカウントダウンパーティーが開催され、日本舞踊を披露し、和と洋の楽しさは忘れられない思い出になりました。演奏会后、ベートーヴェンの生家のあるボンを訪れ、オルガンや楽譜を拝見し、音楽とのめぐり合わせに感激でした。

2001年2月、ドイツで「第九」を一緒に歌ったベルリン市民合唱団29名の方を日本に招き、彦根氏文化プラザグランドホールで演奏会をした時は懐かしさで胸がいっぱいになりました。

2001年6月、フロイデンコーは第20回の定期演奏会で、22年の歴史に幕を閉じ記念に団員とブラペストを訪れ、ジャパンカルミナ視察合唱団に参加し、ハンガリーの合唱団と子ども達も参加して「カルミナ・ブラーナ」をリスト音楽院大ホールで歌った近藤は忘れられません。ウィーンでは、音楽が生活の中に溢れています。

2002年3月11日（米同時多発テロから1年）、世界は一つになって祈りの歌声で地球を繋ぐ「ローリングレクイエム」に参加し、岐阜県美術館で世界の紛争犠牲者の冥福を祈り、モーツアルトの「レクイエム」に祈り



(2pより)

を込めて歌いました。

2006年6月、韓国ウルサンでホームステイし、9月にはデンマーク及びモスクワにホームステイし、音楽と日本舞踊で交流を重ね、平和であったことに感謝するこの頃です。

2007年、2008年、「5000人の第九」を両国国技館で歌い、また大阪城ホールで「1万人の第九」に参加。

2009年、小出隆司さんと藤村記一郎さんの指導で「ぞうれっしゃがやってきた」を歌う。

2010年、稲沢のワンコインコンサートで歌い、各務原文化ホールで「貞奴、誕生140周年創作オペラ」で合唱と日本舞踊で参加し、この頃は音楽が生活の中にしみついていました。

2022年12月にこのウィーン岐阜合唱団に入団し、20年の思いが叶った今、早く皆様の中に溶け込みハーモニーを創る努力をしたいと思ってます。

音楽が私を導き、ウィーン岐阜合唱団創立25周年のパーティーの華やかさと楽しさはコロナを忘れ、又演奏会では皆様の思いやりを感じ、ハーモニーを追求する姿からは、成長あるのみと感じました。

あきらめは老人なり

私の人生は今からがスタート
最高です。

仲間を増やそう！！

元団員の方、知人・友人・歌の好きな方 声かけよう

岐 阜 新 聞

2023年(令和5年)5月5日 金曜日

100人超の「第九」響け

アマチュア混声合唱団「ウィーン岐阜合唱団」が、4年ぶりに年末の「第九演奏会」の開催をため、参加者を募っている。新型コロナウイルス禍で3年間は中止を余儀なくされたが、今月からは合唱団の代名詞でもあるベートーヴェンの交響曲第9番の復活に向けて練習も始まった。音楽監督の平光保さん(75)は「迫力のある演奏を披露したいので、100人以上の合唱を目指す。多くの人に参加してほしい」と呼びかける。(小田裕理)

「ウィーン岐阜合唱団」4年ぶり公演へ



4年ぶりの第九演奏会に向けて練習を始めた団員たち＝岐阜市前一色、長森コミュニティセンター

を開催してきた。コロナ禍の人数が多く密になることで一時演奏会を中止したから、コロナ禍での開催は徐々に再開。しかし第九の演奏会ができない年が続く。演奏会が再開できるまで、練習を続ける。演奏会が再開できるまで、練習を続ける。

コロナ禍から再起、練習に熱 参加者募る

き、参加者が集まるかが課題というが、日井博育団長(74)は「初心者も歓迎。岐阜から第九の平和のメッセージを発信したい」と意気込む。岐阜市前一色の長森コミュニティセンターで行った練習では、参加者が発声練習やパート練習に取り組んだ。20年以上第九を歌う清水みちさん(74)は「音が重なり合う合唱の一端を自分が担っていると、思うと楽しい。終わった後の達成感も大きい」と魅力を語る。練習は、長森コミュニティセンターが毎週末曜日、大垣市南畑町の南地区センターが毎週金曜日、いずれも午後6時30分から。各務原市蘇原花園町のウィーン岐阜ホール「とぎめき」は、毎週日曜日午後2時から。初心者にも歌いやすいよさう、ドイツ語の歌詞は片仮名のルビがあり、楽譜が読めない人のためにパートごとの音源CDもある。問い合わせは合唱団事務局の田中智恵美さん、携帯電話090(1626)8607。

6月～8月 練習予定
～準備が先、声は後～

平日 (18:30 ~ 20:30)		日曜 (14:00 ~ 16:00)
岐阜 長森コミュニティーセンター	大垣 大垣市南地区センター	各務原 ウィーン岐阜ホール
6月 1日 (木)	6月 2日 (金)	6月 4日 (日)
6月 8日 (木)	6月 7日 (金)	6月 11日 (日)
6月 15日 (木)	6月 16日 (金)	6月 18日 (日)
6月 22日 (木)	6月 23日 (金)	6月 25日 (日)
6月 29日 (木)	6月 30日 (金)	7月 2日 (日)
7月 6日 (木)	7月 7日 (金)	7月 9日 (日)
7月 13日 (木)	7月 14日 (金)	7月 16日 (日)
7月 20日 (木)	7月 21日 (金)	7月 23日 (日)
7月 27日 (木)	7月 28日 (金)	7月 30日 (日)
8月		

記入ください

A (音楽用語 連載中)

- ・アウフタクト 弱起 曲のメロディーなどが第1拍以外から始まること。
- ・ア・カペラ もともと楽器の伴奏をつけずに歌う合唱や合唱曲をさす。
- ・アクセント 強調させたい拍に>や ^ の記号をつけ、強く演奏したり、歌ったりすること。
- ・アダージョ adagio ゆるやかに
- ・アツェレラント accelerando だんだん早く
- ・アップ・テンポ 非常に速い演奏速度を表す言葉
- ・アップ・ビート 一拍裏・裏拍のこと
- ・アーティキュレーション
メロデーの部分部分に、強弱、長短など、さまざまなニュアンスを表現すること (スラー・アクセント・スタッカート・テヌートなど)
- ・あ・テンポ 元の早さで
- ・アドリブ コードの進行などに基づき、即興で演奏または歌うこと。
- ・アルト 女性の低音域サクソやギターの中の高音楽器につける言葉
- ・アルペジオ 分散和音。時間的にずらして演奏する事
- ・アレグレット allegretto ほどほど快速に
- ・アレグロ allegro 快速に



広報部よりお知らせ

記入ください